

平成 11 年 12 月 7 日

日本空港ビルディング株式会社

## Y2K 問題に係わる危機管理リハーサルの実施について

### 1. 目的

Y2K 問題については、既に対策本部を設置し十分な対策を行い、危機管理に備えているところであるが、停電等不測の問題が発生した場合に備え、危機管理計画が計画通りに実行され、主要設備が作動し所定のターミナル機能が確保されるかどうかを、航空会社等と緊密な連絡を取りつつリハーサルによって検証するものである。

### 2. 本部

組織: コンピュータ西暦 2000 年問題対策本部(模擬)

場所: 羽田事業所 4 階 A・B 会議室

期間: 下記 3 の時間内

### 3. 停電試験実施個所及び日時

西旅客ターミナルビル

平成 11 年 12 月 13 日(月)23:00 ~ 14 日(火)5:00

国際線ターミナルビル

平成 11 年 12 月 15 日(水)23:00 ~ 16 日(木)5:00

【これまでに実施した対応措置】

1. Y2K 問題対策を含むコンピュータシステムの更新及び改修 約 9 億 6 千万円
2. コンピュータシステムの日付変更シミュレーション(2000 年 1 月 1 日等問題発生想定日)

## 4. リハーサルの内容

### (1) 情報ネットワークの確立訓練

東京空港事務所内に設置される緊急対策本部及び関係機関並びに当社の緊急連絡体制の検証を行う。

### (2) 停電試験訓練

1. 商用電源が停止した場合、非常用発電機が起動し、非常用電源が供給されることを確認する。
2. 非常用電源供給時に、航空会社及び CIQ などの主要設備が正常に稼動することを確認する。
3. 旅客動線、避難動線などの確保及び停電の影響範囲について確認する。
4. 復電後における商用電源供給の確認及び各設備の復旧確認をする。

以上